

アウサレーション MD システム

現場事例



ドライビットのリフレクトイット仕上材はミズーリ州のゼネコン事務所に魅力ある目を見張る様な曲面を施しました。

ブロックを主とした建物の既存分割面は、この改修で弧を描く放射状の玄関壁になり、見事な変貌を遂げました。



以前稼働していたミズーリ州セントルイス郊外にある州立の排ガス試験所は、予算に見合った費用で金属パネルの外観を模倣するドライビットの新しいリフレクトイット仕上材の驚くべき性能により、人目を引くオフィスに変わりました。

更には、施主でありミズーリ州、チェスターフィールドにあるゼネコンのガス

セルベット、CB&E 建設グループの社長はこう残しています：「ドライビットの新しいリフレクトイット仕上を使えば、古びたオンボロの建物を復活させる機会が得られます。」

多くの政府の建物と同様に、州立の旧自動車排ガス試験所はかなり質素な設計が成されていました。建物の両端にある対のガレージ面が単純な分割ブロックの外装壁であったことが最も際立った特徴でした。当初、自動車は建物の片方から素直に入り、排ガス試験を受け、他方から出ていました。数年前にミズーリ州がその試験設備の使用を止めた際、この建物は売りに出されました。まあ、あまり普通ではない見た目や用途であったため、長い間その建物はあまり魅力的ではありませんでした。ミズーリ州のチェスターフィールドバレー地区の急成長している立地にも関わらず、その建物を買う人はいませんでした。この奇妙な建造物がどの様に使えるのか、誰も全く気付きませんでした。

物件名：事務所
ミズーリ州、チェスターフィールド

設計：グレイデザイングループ
ミズーリ州、セントルイス

ドライビットシステム及び仕上材：
アウサレーション MD
リフレクトイット

ゼネコン：CB&E 建設グループ
ミズーリ州、チェスターフィールド

ドライビット施工：
T.J. ウィースコントラクティング
ミズーリ州、セントルイス

ドライビット代理店：
シーリングサブライ
ミズーリ州、セントルイス



セルベット氏は2年前にその建物を購入したのですが、彼が何の考えもなくやって来ました。周りのほとんどの人が建物を取り壊して最初から始めた方が良いと主張していましたが、セルベット氏と彼の経営陣は環境への影響を考え、それを拒否しました。セルベットと彼の経営陣は、最終的に本社を移転することを決定し、既存構造に使用するデザインを「最先端」で注目を集めるものに変更したい旨を方針の中核とすることを決めました。

「私たちはいつも持続可能な建設を信じています—数年前に私たちはミズーリ州に最初のグリーンビルディングの物件を施工しました—また、私たちは建物を壊すのに大き過ぎるエネルギーが必要なことも知っていました。私たちが苦勞していた問題は私たちに何が出来るのか、ガソリンポンプもない様な...ガソリンスタンドを見ているだけで終わらせないということだ。」とセルベット氏は主張します。「私たちにあって建物の保存が最優先事項だ。私たちが建物に「スウッシュ(勝利の女神ニケの彫像の翼をモチーフとし

たナイキ社の躍動感を表すロゴの意味)の壁」と呼んでいる真に重要な特長を象徴したデザインを提供するために、私たちの設計者はすごい仕事をしてくれた。」

施主は構造維持に加えて、デザインも重視した材料を選定したいと考えていました。彼らは構造部材を強調することにより、目を引きつつ、会社の特色を表す様な建物が欲しかったのです。

セントルイスにあるグレイデザイングループの社長であり設計者であるラリーミルズとそのチームは仕事場と個人オフィスに囲まれた中央に作業場を作るために高いガレージベイドアを利用したデザインを提示しました。以前のガレージドアを大きな窓に変えたので、内部空間は明るく、行き来し易くなりました。しかし、その設計の主たる特長は、疑いの余地なく、新しい中庭の入口から出入りできる建物の新しく優雅な玄関を含んだ、正面の通りを延長した曲面的な外装であります。一流のデザインを考案することに加え、外装材にドライビットのアウトサレーション MD システムを選択したことで、持続可能性を意識していた施主は、レンガの約5分の1、しつくいの約3分の1の炭素負荷でエネルギー効率の高い施設を手に入れました。新しいデザインにより、建物をより大きく見せる効果を作り出しただけでなく、セルベットとCB&Eが企業方針にしていた「最先端」の機能が実現されました。もともとの設計では金属パネルが必要でしたが、大幅に高いコストが原因で最終的に却下されました。そこで、ドライビットのリフレクトイット仕上材が選ばれ、施主と設計の両方が要求する条件を満たすことが出来ました。

「ドライビットがこの製品で提供するのは、常に目立つ素材を使って素晴らしい独自の仕事をしたいが、予算が制限されていると言う設計者に本当に素晴らしいデザインをしてもらうことです。」とグレイデザイングループのミルズ氏は言います。「金属やブロック、または他の材料で曲面を作ることは確かに可能ですが、本質的に高価ですし、作業が困難です。ドライビットのリフレクトイットは誰もが注目する様な

外観を提供し、また何よりも費用を気にする必要がありません。」

リフレクトイットを資材選定に含めたのは確かにセルベット氏であり、ゼネコン会社の施主である彼は以前にリフレクトイットをアリゾナ州、フェニックスにあるホテルで使ったことがありました。

「フェニックスで行った物件にこの製品を使用した際の外観が気に入ったので、建築家に提案しましたが、結果に満足できませんでした。」とセルベット氏は苦言を呈しました。

セルベット氏とミルズ氏は、より均一な外観を作るために、既存の分割ブロック構造を覆う金属枠とデングラスゴールドシーディングに施工されたドライビットのアウトサレーション MD システムのみならず、110m²の外装にリフレクトイットを施工したことがあるミズーリ州セントルイスの請負業者、ドライビット認定の施工会社である、T.J.ウィースコントラクティングに頼みました。

「ドライビットシステムの施工者は、それを証明するために素晴らしい仕事をしました。」とミルズ氏は言います。「たとえ近くで見上げても、一流の金属パネルの様に見えます。誰もが絶対に騙されます。」

T.J.ウィースコントラクティングの副社長であり物件管理担当のリックフォルクナー氏は、天候や風、短縮された納期の所為で、リフレクトイットの施工は最初、困難なものになったが、非常にやりがいがあったと語っています。「リフレクトイット仕上材のスプレー施工を始めた時、強風のみならず、大雨と高温に悩まされ、乾燥時間が取れなかった。」フォルクナー氏は言います。「いくらかの場所で多少の不均一な乾燥をしていることに気づいたので、ドライビットの現場指導マネージャー、デイブロバーツに相談し、2回のスプレー塗装を勧められました。乾燥後は、完璧で、全く本当に良い外観になりました。」

「アウトサレーション MD システムはウィース社が既存の分割ブロック壁上に組んだ間柱壁に容易に施工できました。」

「分割ブロックは凸凹が多すぎて、ドライビットシステムを元の建物に直接施工することは難しく、また、出来たかもしませんが、確実に施工するには外部に間柱壁を設けて、デングラスゴールド上に施工する方が良いと感じました。」フォルクナー氏は以下の様に続けます。

「新しいCB&Eの事務所は、ドライビットの輝く外装の下に、以前のありふれた壁が隠されている様には見えません。」

「建物改修にドライビットシステムを使うことは、古くて平たい建物の「欠点を隠す」のに最も良い方法であり、この物件が見事に証明しました。」と設計のミルズ氏は言及します。「しかしながらリフレクトイット仕上材の性能を引き出すには、手頃な価格で建物のデザインに劇的な特徴をもたらしてくれる柔軟性に富んだ新たなデザイン性が間違いなく必要です。」

ドライビットが提供するアウトサレーション MD システムや他のシステム、製品に関する、より多くの情報については 1-800-556-7752 にお電話頂くか、www.dryvit.com を参照ください。

